

令和7年10月～令和8年6月の間で、当院およびTAOKA訪問看護ステーション万代の双方で、がん看護専門看護師が支援を実践した患者様へ

当院では、より効果的・効率的な診療を行うことを目指して、患者様の診療情報を使用して研究を実施しています。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。

1.研究課題名

アドバンス・ケア・プランニング移行支援におけるがん看護専門看護師の実践的特徴

2.研究の目的と意義

がん患者様の療養場所の選択肢が拡大する中、患者様の価値観に基づく意思決定を支えるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）は、病院と在宅をつなぐ支援の要となります。一方で、病院と在宅の移行期には患者様やご家族の意思の揺れや医療従事者の認識の不一致が生じやすく、ACP が効果的に実践されないまま療養場所が変化することも少なくありません。そこで、がん看護専門看護師が関わった支援事例を分析し、病院と在宅をつなぐ専門看護師の支援の特徴を明らかにすることを目的として研究を行います。その結果、がん看護や ACP 支援の質向上に寄与し、がん患者様やご家族が、納得できる人生の最終段階を迎えることが期待できます。

3.研究に用いる情報

本研究の研究対象者（分析対象）は、専門看護師が病院と在宅の双方で支援を行ったがん患者様8名とします。診療録、訪問看護記録等を用いて、ACP 導入の経緯・患者および家族の意思決定の変化・多職種連携の状況・退院支援の経過・在宅移行後の支援内容に関する記述を抽出します。本研究で扱う情報・データは、個人を特定できる情報を含まない記述内容のみを抽出するので、個人は特定されません。

4.研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。

5.個人情報の保護

- ・個人が特定できる情報は扱いません。
- ・収集した試料・データは研究責任者が院外に持ち出さないように厳重に保管・管理します。
- ・この研究に関する情報が外部に漏れることは一切ありません。
- ・この研究では、資料・情報は田岡病院のみで取り扱い、外部への提供はいたしません。
- ・この研究活動に関しては、当院の臨床研究倫理審査委員会で審査されています。
- ・この研究に同意されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

同意されない場合も何も不利益は生じません。

6.公表予定

日時：2027年5月8日・9日 第12回 日本がんサポーターズケア学会学術集会にて発表予定

7.お問い合わせ先（研究責任者）

医療法人倚山会 田岡病院 看護部 松岡由江

TEL：088-622-7788